

公益財団法人 サントリー芸術財団 音楽事業部

107-6022 東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル22F Tel: 03-3582-1355 Fax: 03-3582-1350

Nosfa0005 (2015.8.31)

**第25回「芥川作曲賞」
坂東祐大氏の作品
ダミエ&ミスマッチ J.H:S
に決定**



第25回「芥川作曲賞」は、8月30日（日）午後3時から東京・サントリーホールでの演奏会による公開選考の結果、坂東祐大氏作曲の「ダミエ&ミスマッチ J.H:S」に決定しました。同氏には、賞状とあわせて賞金50万円が贈られました。

芥川作曲賞は、戦後のわが国音楽界の発展に多大の貢献をされた故芥川也寸志氏の功績を記念して、サントリー音楽財団（現・公益財団法人 サントリー芸術財団）が日本作曲家協議会の支援を得て1990年4月に創設したものです。故人の深い音楽愛、明晰な音楽観と音楽の振興によせられた熱情を追慕して、わが国の新進作曲家のもっとも清新にして将来性に富む作品を対象に、演奏会形式により公開選考を行うという、作曲賞としてはわが国で初めてのユニークな試みとなっています。なお、この日、公開選考に先だって、第23回受賞者・酒井健治氏の受賞記念サントリー芸術財団委嘱作品 ヴァイオリン協奏曲「G線上で」の世界初演が行われました。

▽第25回芥川作曲賞

坂東祐大（ぼんどう・ゆうた）

<贈賞理由>

デジタル時代を反映した今日的な発想に基づき、すぐれた書法・構築力によって、完成度の高い斬新なオーケストラ作品にまとめあげた点が高く評価された。

<略歴>

1991年大阪府生まれ。東京藝術大学作曲科を首席で卒業。同大学院修士課程修了。2012年長谷川良夫賞、2013年アカンサス音楽賞受賞、2014年第83回日本音楽コンクール第3位。作曲を野田暉行、安良岡章夫、野平一郎、ピアノを中井正子の各氏に師事。

第25回芥川作曲賞 選考経過

1. 2015年3月31日（火）東京・赤坂のANAインターコンチネンタルホテル東京において、譜面・録音による第1次選考会を開催。2014年1月1日より2014年12月31日の間に国内外で初演された日本人作曲家の管弦楽作品を対象に選考し、芥川作曲賞にふさわしい清新にして豊かな将来性を秘めた以下3作品を「第25回芥川作曲賞」の候補に選定した。選考委員は、池辺晋一郎、山根明季子、山本裕之の3氏。（50音順）

◆浅賀小夜子：チャルダッシュ形式による嬉遊曲（2012）

初演＝2014年11月17日 東京音楽大学Jスタジオ
雑司ヶ谷楽友会第2回定期演奏会

◆辻田絢菜：コレクションニズムIV / ヴォルパーティーンガー（2014）

初演＝2014年10月30日 東京オペラシティ・コンサートホール
第83回日本音楽コンクール本選会

◆坂東祐大：ダミエ&ミスマッチ J.H:S（2014）

初演＝2014年10月30日 東京オペラシティ・コンサートホール
第83回日本音楽コンクール本選会

（50音順）

2. 2015年8月30日（日）サントリーホール大ホールにおいて、上記3曲を公開演奏（指揮＝杉山洋一、管弦楽＝新日本フィルハーモニー交響楽団）。演奏終了後、ステージにおいて池辺晋一郎、山根明季子、山本裕之 3 選考委員による公開討議（司会＝柿沼敏江氏）を行った結果、「第25回芥川作曲賞」受賞曲に坂東祐大氏の作曲による ダミエ&ミスマッチ J.H:S が選定された。
3. 公開選考終了後、直ちに同ステージにおいて贈賞式が行われ、サントリー芸術財団専務理事 勝田哲司より賞状、賞金（50万円）が授与された。
なお、坂東祐大氏にはサントリー芸術財団より交響管弦楽曲の新作が委嘱され、完成後に同財団主催のコンサートで初演される。（委嘱料100万円）

以 上